

1998年11月の開業から23年が経過し、私は今年還暦を迎えました。還暦になってみると、これまでは感じなかった心身の衰えを自覚するようになり、特に集中力を保ったまま長時間診療することがむずかしくなってきました。人口の減少に伴って当院の受診者数も毎年減少してきていますので、患者さんになるべくご迷惑をかけない形で診療時間を短縮することを検討しました。

## 受付時間帯の分析

何曜日のどの時間帯の受付人数が多くてどこが少ないのかを明らかにするために、5月31日から7月31日までの9週間、受付時間を30分ごと区切って受付数の集計を行いました。受付数が多いか少ないかの基準は、1人あたりの平均診療時間が4分程度なので、30分あたり7人を判断の基準としました。

図1が曜日ごとの受付数です。午後よりも午前の受付数が多く、午前は土曜日がやや少ない以外に、曜日による変動はあまりありません。午後は金曜日が多く、月曜と木曜は少ない傾向でした。診療時間の長さが違うので、30分あたりの受付数を下に数字で示しましたが、月曜と木曜の午後は基準人数7人の約半分でした。

図2は午前の時間帯ごとの受付数です。8時台後半にピークがあり、それ以外は7人以下で、あまり待ち時間が長くないちょうどいい受付数になっていました。(紹介が必要な患者さんなど、時間がかかる患者さんが来院した時はお待たせしてしまっています。すみませんがご了承をお願いいたします。)

図1 曜日ごとの受付数

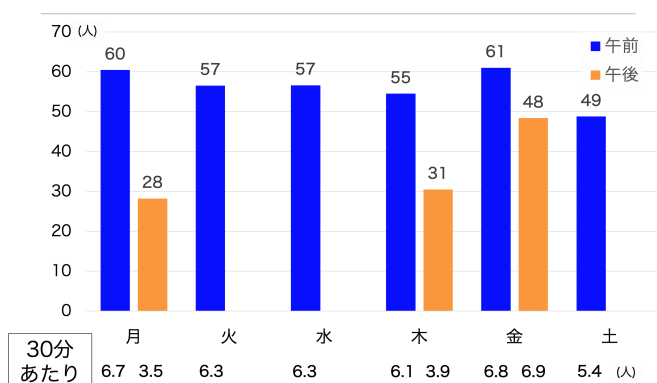


図2 午前の時間帯ごとの受付数

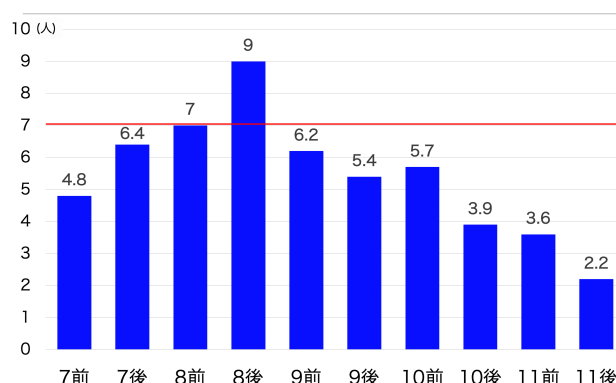


図3は月曜と木曜の午後の時間帯ごとの受付数です。14時台前半と17時台前半にピークがありますがいずれも7人以下で、それ以外の時間帯は7人の半分以下の受付数でした。

図4は金曜の午後の時間帯ごとの受付数です。16時診療開始ですが、その前から受付している患者さんが結構います。受付状況に応じて、可能な場合は16時前から診療を開始しています。診療時間全体を通して7人前後の受け付け数になっており、スムーズな診療を行える受付数だと言えます。

図3 月・木曜午後の時間帯ごとの受付数

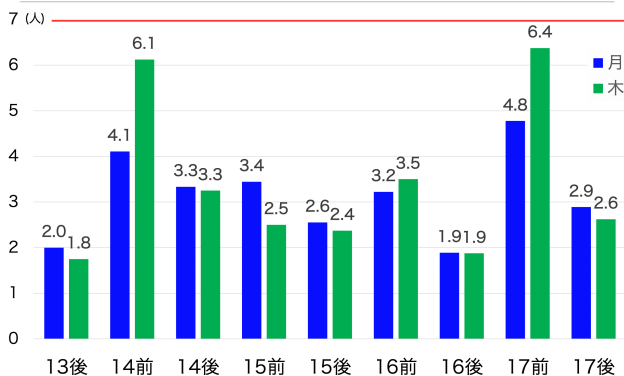
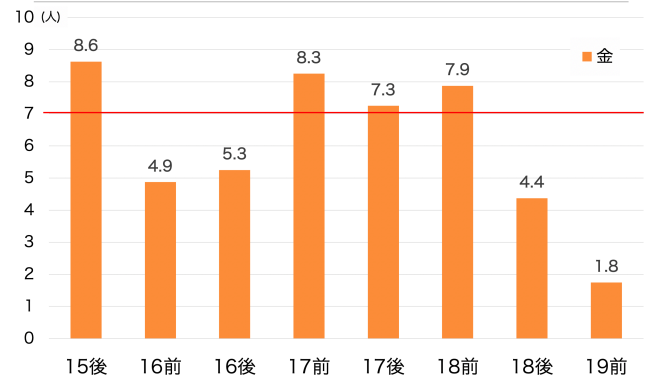


図4 金曜午後の時間帯ごとの受付数



### 診療時間の変更の検討

分析の結果を踏まえ、スタッフ全員で診療時間をどう変更するべきかの話し合いを行いました。

まず、早朝7時半からの診療開始は、診療時間前から受付があるため継続することにしました。金曜の午後も現状どおりとしました。月曜と木曜の午後をどうするかということになり、月曜の午後を休診にしてしまう案と、月木とも1時間短縮する案が検討されました。午後は受付数は少ないものの、インフルエンザの予防接種の時期など学校が終わってから受診する人が多いので、午後の診療が週2日しかないのは不便ではないかという理由で、月曜の午後休診の案は却下されました。次に1時間短縮するとしたら14時から17時までにするのか、15時から18時までにするのかを検討されましたが、仕事が終わってから17時過ぎに受診する人がいるので17時で終了にはできない、15時開始であれば遅く受診してもらうことで対応できるのではないかということになり、最終的に月曜と木曜の診療時間を15時から18時とすることに決まりました。

このような経緯で2022年1月からの診療時間は表紙に示した時間になります。ご不便をおかけすることになると思いますが、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

